蓮田市男女共同参画計画

はすだ男女共生プラン2025

令和2年度事業 進捗状況報告書

わたしも あなたも みんなが輝けるまち はすだ

蓮 田 市

令和	目標	I	男女共同参画への意識づく	(n)	計画
2	方針	1	男女平等の意識づくりの推	進	書
	施策	(1)	固定的性別役割分担意識の)解消	Р
年度	取組	1	講演会等の開催		11
担当		₹.	5年度実績	今後の対応	
	女性活躍推進法をテーマとしたセミナー			講演会やセミナー等の	の開催
	を計画したが、新型コロナウイルス感染症拡			により、男女共同参画、	男女平
庶	大防止の	ため、開	催を見送った。	等の意識啓発を行ってい	<。
務課					

令和	目標	目標 I 男女共同参画への意識づくり			計画
2	方針	1	男女平等の意識づくりの推	進	書
2	施策	(1)	固定的性別役割分担意識の)解消	Р
年度	取組	2	広報誌等での意識啓発		11
担当		₹.		今後の対応	
	男女共同参画週間(6月)のポスターを掲		間(6月)のポスターを掲	引き続き、男女共生に	関する
	示し、周知に努めた。また、埼玉県が発行す			情報を発信し、市民等に	男女平
庶	る男女共	る男女共生情報誌等を庶務課窓口に掲示し		等の意識づくりの推進を	を図っ
庶 務 課	啓発に努めた。			ていく。	

令和	目標	目標 I 男女共同参画への意識づくり			
2	方針	1	男女平等の意識づくりの推		書
	施策	(1)	固定的性別役割分担意識の)解消	Р
年度	取組	3	啓発冊子の発行と充実		11
担当		₹.	5年度実績	今後の対応	
	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症			市民編集員による柔輔	吹な発
	拡大の影	響により	、市民編集員(公募市民)	想が十分発揮できるよう。	、男女
庶	によるインタビューを行うイベント自体が			共同参画社会づくりの	実現の
務課	中止にな	ったこと	や打合せ時間の確保が難	ために、魅力ある情報誌*	づくり
D/K	しかった	ことから	、啓発冊子の発行を見送っ	に努めていく。	
	た。				

令和	目標	Ι	男女共同参画への意識づく	男女共同参画への意識づくり	
2	方針	1	男女平等の意識づくりの推	進	書
	施策	(1)	固定的性別役割分担意識の解消		Р
年度	取組	4	市民への意識啓発		
担当	今年度実績			今後の対応	
	2月5日に社会教育課で開催を予定して			引き続き、女性が働き	ゆすい
	いた人権	問題講演	会の案内通知に「女性の職	社会となるよう、啓発活	動を行
庶 務 課	業生活における活躍の推進に関する法律(女			っていく。	
課	性活躍推	進法)」(こ関する資料を同封し、周		
	知活動を	行った。			

令和	目標	I	男女共同参画への意識づく	(n)	計画
2	方針	1	男女平等の意識づくりの推進		書
2	施策	(2)	男女平等に関する情報の収	?集と提供	Р
年度	取組	5	情報の収集と提供		11
担当			5年度実績	今後の対応	
	内閣府	や県内自	治体の男女共同参画情報	情報収集の強化と市民	まにと
	誌を入手	し、先進に	的事例や効果的な取組情報	ってわかりやすい情報を	発信に
庶	の収集を	行った。		取り組みながら、効果的な	な意識
務課	また、	男女平等	に関する情報誌を市役所内	啓発を図っていく。	
	に配架し	、市民へ	の情報発信を行った。		
	男女共	同参画に	こついての理解と関心を深	引き続き、男女平等の	意識づ
	め、ひとり	0ひとり:	が自分らしく輝くまちの実	くりに関する資料収集が	うびパ
݆	現のため関係資料を収集(購入等)し、提供			ンフレット、リーフレッ	トによ
(図書館)	した。			る情報提供に努め、多様の	化する
教書館	また、[図書以外	のパンフレット、リーフレ	ライフスタイルを豊かは	こして
課	ット及び	ポスター	-は、情報コーナーにて配	いくための情報提供、啓	発に努
	布、掲示	し、情報	の提供、啓発を実施した。	める。	
				I	

令和	目標	I	男女共同参画への意識づく	こり	計画		
	方針	1	男女平等の意識づくりの推		書		
2	施策	(2)	男女平等に関する情報の収	ス集と提供	Р		
年度	取組 6 男女平等に関する制度についての普及啓発				11		
担当		4		今後の対応			
庶務課	市役所内 た。また、 「女性と	に配架し 、庶務課! 人権」を	県の男女共同参画情報誌を 、市民への情報発信を行っ 窓口に人権ポケットブック 配架し、男女共同参画社会 を促した。	法律や制度について、i とってわかりやすい方法 知、情報発信を行い、普定を図っていく。	去で周 及啓発		
学校教育課	制度やそ リアアッ 考える機 築いてい	社会科等の授業の中で、男女平等に関する 今後も継続する。男女平 制度やその歴史について扱った。また、キャ キャリア教育を関連させ、 リアアップ講演会等で、自身の将来について し、かつ他と協力しながら、 考える機会を設け、男女共によりよい社会を りよく生きることについて 築いていく一員であることについて考えを ぶ機会を作っていく。 深めさせた。					
子ども支援課	子育てガ 板にファ	イドブッ ミリー・	を支援することを目的に、 クや広報、各公共施設掲示 サポート・センター及び病 情報を掲出し、普及啓発に	ファミリー・サポート ターの所在地が蓮田駅で 政センター内に移転した から、再度、広報や各公会 にファミリー・サポート ター及び病児・病後児保証 報を掲出し、女性の社会会 支援する。	西口 ここ 共施設 ・セン 青の情		
保育課	ることを 報、各公 2	目的に、 共施設掲	育て・介護の両立を支援す 子育てガイドブックや広 示板に子育て支援センター るなどし、普及啓発に努め	引き続き広報や各公共 に子育て支援センター等 出し、女性の仕事と子育 護の両立を支援する	等の掲		

令和	目標	I	男女共同参画への意識づく	(1)	計画
2	方針	2	男女平等を育む教育の推進	男女平等を育む教育の推進	
2	施策	(1)	家庭における男女平等教育	の支援	Р
年度	取組	7	保護者への意識啓発		13
担当		4		今後の対応	
张	各校に	おける家	庭教育学級の取組、就学時	今後も継続していく。	
校	健康診断	時におけ	ける子育て講演会等を通し		
学校教育課	て、保護	者への啓	発を行い、意識の高揚を図		
課	った。				
子	家庭教育	学級の関	間催により保護者への啓発	家庭教育学級を継続し	して開
ئے #	を行い、意識の高揚を図った。例年行ってい			催するとともに、新型コ	ロナウ
支	た子育て	講演会に	ついては、新型コロナウイ	イルスの状況により、子	育て講
子ども支援課	ルスの感	染流行に	より中止した。	演会を開催する。	
	各園で配	布する手	=紙や掲示などは保護者あ	男女の区別なく、子育	てに積
保	てと表示	をしたり	、送迎時の対応も保護者と	極的に取り組んでいたが	ごくよ
保育課	しての対	応をして	いる。	う意識啓発を図る。	
D215					

令和	目標	I	男女共同参画への意識づく	(1)	計画
2	方針	2	男女平等を育む教育の推進		書
	施策	(1)	家庭における男女平等教育	の支援	Р
年度	取組	8	家庭教育に関する情報や学	望機会の提供	13
担当		₹.	5年度実績	今後の対応	
	懇談会	や学校だ	より等で、家庭教育に関す	今後も継続していく。	
学	る情報の	提供を定	期的に行った。また、家庭		
学校教育課	教育学級	を開催し	、保護者への啓発を行っ		
育	た。				
課					
	広報誌	等を利用	し、家庭教育に関する情報	学校行事等は、保護者は	が多く
_	や学習機	会の提供	を行うとともに、小・中学	集まる場として最適の植	幾会で
子ど	校で家庭	教育学級	を開催した。さらに、就学	ある。新型コロナウイル	スの感
) ŧ	時検診時	に子育て	講座「親の学習」を実施し	染拡大に留意しつつ、今	後も活
子ども支援課	た。例年行	うってい	た中学校入学説明会時の子	用していく。	
課	育て学習	講座は、	新型コロナウイルスの感染		
	拡大防止	のため中	止した。		

令和	目標	I	男女共同参画への意識づく	(1)	計画
2	方針	2	男女平等を育む教育の推進	男女平等を育む教育の推進	
	施策	(1)	家庭における男女平等教育	の支援	Р
年度	取組	9	家庭教育に関する相談機能	この強化	13
担当		₹	5年度実績	今後の対応	
	就学相	談会を実	施した。	今後も継続していく。	また、
学校	各校で	は、個別	面談を定期的に行い、必要	さらに開かれた学校とな	り、保
学校教育課	な時に即	座に保護	護者との対話ができる体制 かんしゅう かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かん	護者が頼れる学校となる	るため
自課	づくりに	努めた。		に、教職員への研修等を	一層充
D214				実させる。	
	母子愛育会事業に子育てアドバイザーを			乳幼児を持つ保護者が	からの
	派遣する事業については、新型コロナウイル			相談を受ける場として。	よい機
	スの感染拡大を防止するため、実施しなかっ			会である。西口行政センタ	ター内
	た。			子育てサポートコーナー	「プレ
子	未就学児童を持つ世帯への家庭教育につ			ックス・キッズ」に子育	てコン
C#D	いては、「WA になってしゃべろう」を1回、			シェルジュが配置された	きこと
子ども支援課	ソーシャ	ルディス	スタンスに配慮した新しい	により、保健師や地域子	育て支
課	取組「家原	庭教育支	援チームのちょっとほっと	と 援拠点施設、家庭教育支援グル	
	タイム」	を4回実	施し、相談に応じた。	ープ等との連携がよくな	なった
				ことから、今後も関係機関	関等と
				連携を図りながら、継続	してい
				<.	

令和	目標	I	男女共同参画への意識づく	(1)	計画
0	方針	2	男女平等を育む教育の推進		書
2	施策	(1)	家庭における男女平等教育	の支援	Р
年度	取組	10	男性の家事・育児・介護への	参加を促す講座等の開催	13
担当		4		今後の対応	
学	中学校	において	、家庭科の授業の中で育児	今後も、家庭科の授業に	こおけ
学校教育課	について	学ぶとと	もに、認知症サポーター講	る育児の指導の充実とと	もに、
育	座を小学	校で2校	、中学校で1校実施した。	認知症サポーターの講像	座の実
課				施校の拡大を図る。	
	父親学	級の開催	筐(両親学級の2回目で実	今後も新型コロナウ~	イルス
	施):沐浴実習を通して父親が育児参加する			の感染拡大防止に配慮し	ノつつ
7	ための知識や技術の普及を図る。			継続していく。	
子ども支援課	新型コ	ロナウィ	/ルスの感染拡大を防止す		
ŧ ₹	るため、	内容を精	査のうえ、時間短縮かつ日		
援	程を3回	から2回	に変更して実施した。		
誄	年2回	開催(9	月5日、12月5日)		
	参加者実人数:46人				
	(妊婦	23人、	夫23人)		
	新型コ	ロナウィ	/ルス感染症拡大防止対策	引き続き、新型コロナ	ウイル
ネ †	を講じた	うえで、	3~4か月児健康診査に来	ス感染症拡大対策を講り	 じたう
会数	場した親	子に絵本	をプレゼントする『ブック	えで、本を通じて親子がん	ふれあ
社会教育課	スタート	事業』を	行った。	う時間を作り、心のふれる	あいに
課	なお、	読み聞か	せ体験は、新型コロナウイ	よる育児参加のさらなる充実	
	ルス感染	症拡大防	止のため、中止とした。	を図っていく。	

令和	目標	I	男女共同参画への意識づく	(1)	計画
0	方針	2	男女平等を育む教育の推進		書
2	施策	(2)	男女平等意識を育む学校教	(育等の推進	Р
年度	取組	11	教職員に対する研修の充実		13
担当		₹.	5年度実績	今後の対応	
	男女平等教育を推進する研修を推進した。			男女平等教育を、意図	的•計
	人権教育を各教科・領域で実施した。(道徳、			画的に取り上げて授業を	を展開
学校	特別活動	、社会科)管理職向けの人権に関す	する。人権教育全体計画に	に男女
学校教育課	る研修会	を行い、	男女平等教育を校内で推進	平等教育を明記する。男	女平等
自課	する研修	会を開催	した。市内教職員悉皆の市	教育のための教職員研修	多を一
B)K	内人権教	育研修会	を行った。校内研修会を各	層充実させる。	
	校で行った。				

令和	目標	Ι	男女共同参画への意識づく	(b)	計画	
0	方針	2	男女平等を育む教育の推進	男女平等を育む教育の推進		
2	施策	(2)	男女平等意識を育む学校教	(育等の推進	Р	
年度	取組	12	教育内容や教育方法の改善	充実	13	
担当		₹.	5年度実績	今後の対応		
	男女平等教育を推進する授業をした。人権			男女平等教育を意図的	的に取	
学	教育を全	教育活動	で実施した。(道徳、特別	り上げて授業を展開する	。人権	
学校教育課	活動、社	会科、絲	合的な学習等。)進路指導	の全体計画に男女平等都	教育を	
育	を領域等	で実施し	た。(特別活動、総合的な	引き続き明記する。		
課	学習の時	間、学校	ファームを利用した農業体			
	験)					

令和	目標	Ι	男女共同参画への意識づく	(1)	計画		
0	方針	2	男女平等を育む教育の推進		書		
2	施策	(2)	男女平等意識を育む学校教	て で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	Р		
年度	取組	13	一人ひとりの個性を生かす	-人ひとりの個性を生かす教育の充実			
担当	今年度実績			今後の対応			
	各教科領域で個に応じた指導を行った。少			個々に応じ、一人一人?	を大切		
	人数指導、習熟度別学習、課題別学習を算			にするきめ細やかな指導	尊方法		
学	数•数学	• 体育 •	理科・総合・社会等で効果	等についての研修会を実	実施す		
学校教育課	的に行った。特別支援教育の理念に基づく教 る。巡回相談の一層の3						
育	育を行っ	た。(蓮I	田市巡回相談の実施、ユニ	り、教育相談の面からも	男女平		
課	バーサル	デザイン	′視点の学級経営・授業づく	等教育の推進を図る。			
	り) 個を	生かす指	導に係る研修会の実施。小				
	学校外国	語活動の)充実。				

令和	目標	I	男女共同参画への意識づく	男女共同参画への意識づくり	
2	方針 2 男女平等を育む教育の推進			書	
	施策	(2)	男女平等意識を育む学校教育等の推進		Р
年度	取組	14	男女混合名簿の実施		13
担当	今年度実績			今後の対応	
学校教育課	すため、 を推進し	学級名簿 た。出席	E男女平等の観点から見直 を 50 音順の男女混合名簿 点呼や健康観察等、日常的 Z不平等が起きないよう配	健康診断等で男女別に というような性差につい 児童生徒に十分理解させ、 康診断等で男女別に分け 施する場合は、男女不平等 きないよう配慮する。	Nては る。健 けて実

令和	目標	Ι	男女共同参画への意識づく	(n)	計画	
2	方針	2	男女平等を育む教育の推進		書	
	施策	(2)	男女平等意識を育む学校教	(育等の推進	Р	
年度	取組	15	男女平等の意識を促す教育	の充実	13	
担当	今年度実績			今後の対応		
学校教育課	を実施し 日頃の教 女平等に	男女平等教育の推進を念頭に入れた授業 研修の機会 を実施した。また、授業だけの取組でなく、 職員の意識を 日頃の教育活動全体の中で、児童・生徒が男 会を一層充実 女平等に活躍できる場を設定し、互いに認め 徒の人権感覚 合える人権感覚と態度を育んだ。 さる学校づく ていく。				
保育課	男女混を行った		男女混合グループ等の実施	今後も継続していきたい	0	

令和	目標	Ι	男女共同参画への意識づく	(1)	計画
2	方針	2	男女平等を育む教育の推進		書
	施策	(3)	男女平等をめざした社会教	で育の充実	Р
年度	取組	16	男女共同参画の視点を取り入	れた生涯学習事業の推進	13
担当		4	5年度実績	今後の対応	
学校教育課			7への訪問団やオーストラ れは行わなかった。	新型コロナウイルス原 大の状況を鑑みて実施の を判断する。	
社会教育課	学習事業 に1日講	として 、 座を開催	で指導、受講のできる生涯 令和3年3月13・14日 予定だったが、新型コロナ 防止のため中止とした。	感染症対策を行ったう。 各行事が実施できるよう し、講座の開催をしてい	う検討

令和	目標	I	男女共同参画への意識づく	(1)	計画
	方針	2	男女平等を育む教育の推進	<u> </u>	書
2	施策	(3)	男女平等をめざした社会教	対育の充実	Р
年度	取組	17	人権尊重教育・啓発の充実	=	13
担当		<u></u>		今後の対応	
庶務課	を開催す	るととも	: 埼葛人権を考えるつどいに、12月12日に開催しまいて人権啓発活動を行		ま効果
学校教育課	も、男女	の隔てな	動や英語の授業において く、英語コミュニケーショ の推進をした。	今後も男女の隔てなくでコミュニケーションがる活動を推進していく。	
社会教育課	会等を企成を定め、ため、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では	画してい 防止のた	充実を図り、講演会・研修 たが、新型コロナウイルス とめ多くの行事を中止とし を考えるつどい 別用団体連絡協議会研修会 推進協議会研修会 講演会 の会議等で配布していくた を記していくた	感染症対策を行ったう 各行事が実施できるようを行うとともに、行事開 わる啓発事業の充実化を していく。	う検討 催に代

令和	目標	Ι	男女共同参画への意識づく	. り	計画
2	方針	3	男女の人権の尊重		書
	施策	(1)	あらゆるハラスメントの根	絕	Р
左庄	取組	18	ジェンダー・ハラスメント	、マタニティ・ハラスメ	15
年度	日又市日	10	ント、セクシュアル・ハラ	スメント等の防止啓発	15
担当		₹.	5年度実績	今後の対応	
	蓮田市	職員研修	として、人権問題研修を行	研修を実施することで	、人権
	い、差別行為を含めた人権問題に関する知識			に関するあらゆる問題の	の再確
Ŧ.N	の習得に努めた。			認が図れることから、研	修会を
秘書課	令和3年1月19日実施			継続して行っていく。	
課	参加人数 142名				
	※コロナ感染対策のため例年より規模を				
	縮小して開催。				
	LGB	Tなどに	対して偏見や差別をする	女性の人権相談の窓[コを広
	ことがな	いよう、	市で作成したチラシで案内	く周知するとともに、あ	らゆる
庶務課	を行った	。また、	市役所内に女性の人権啓発	ハラスメントの防止に向	け、企
課	パンフレ	ットを配	架し、ハラスメントの防止	業訪問などの機会を通り	じて啓
	啓発を行	った。		発活動を行っていく。	

令和	目標	Ι	男女共同参画への意識づく	(り	計画
2	方針	თ	男女の人権の尊重	- 男女の人権の尊重	
	施策	(2)	人権を尊重する意識啓発	人権を尊重する意識啓発	
年度	取組	19	男女共同参画の視点に立った	男女共同参画の視点に立った情報提供に関する留意	
担当	今年度実績			今後の対応	
	男女共	生情報誌	「ぱすてる」の発行を令和	男女共生の視点に立っ	った表
	2年度は見送ったが、次年度においては、掲			現、イラスト、レイアウ	ト等に
庶 務 課	載した記事について、適切な表現への配慮や			留意していくことで意記	哉啓発
課	意識の改善を図りながら記事の編集を行うに取り組んでいく。				
	ようにす	る。			

令和	目標	Ι	男女共同参画への意識づく	(1)	計画	
2	方針	方針 3 男女の人権の尊重			書	
2	施策	(2)	人権を尊重する意識啓発	権を尊重する意識啓発		
年度	取組	20	女性に配慮した防災・防犯]体制の推進	15	
担当		4		今後の対応		
危機管理課	観男るシにと帯イタか双ま保たて配ーバブルら方に護っい慮トト	、「被災E の で で で の の の の の の の の の の の の の	計画では、男女共同参画の時の男女のニーズの違い等に配慮する」こととしていにおける女性へのプライバラ防の観点から、その設営性の視点を取り入れることとの視点を取り入れることとの開設ができるよう、プラーントや男女別に電動ポー整備を進めた。併せて、子がミルク等の備蓄も継続し	引き続き、女性に配慮 難所運営ができるよう、 整備を進めていく。また、 合防災訓練等では、女性の を取り入れた訓練を実施 制を推進していく。	環境・ 、市総 の視点	
庶務課	取り入れ営」のする	た「みん すめを庶	れた男女共同参画の視点を いなが安心できる避難所運 務課の窓口に配架するとと 情報共有を図った。	女性に配慮した防災・「 制が推進されるよう取り でいく。		
消防課	初予定し 止となり かったが	ていた 、計画通 、開催し 、女性の	ルス感染症防止に伴い、当 対命講習や消防訓練等が中 りに実施することができな た講習や訓練には、積極的 視点から防災・防犯体制の	引き続き、女性消防吏性消防団員を積極的に整理や消防訓練、各種イベスでででである。	数命講 ント等 した訓	

令和	目標	Ι	男女共同参画への意識づく	(n)	計画
2	方針	3	男女の人権の尊重	男女の人権の尊重	
	施策	(2)	人権を尊重する意識啓発		Р
年度	取組	21	「性の多様性」に対する理	 関の促進	15
担当	今年度実績			今後の対応	
	蓮田市	を含む埼	葛12市町共同で、ロゴマ	LGBT等に関する	チラシ
庶	ークを作成し、性的少数者の方を応援すると			を庶務課に配架するなど、	、引き
務課	ともに正	しい理解	解を促進するための啓発活	続き、「性の多様性」に対	対する
	動を行っ	た。		理解の促進を図っていく。	o

令和	目標	Ι	男女共同参画への意識づく	こり	計画
2	方針	3	男女の人権の尊重		書
	施策	(3)	相談体制の充実		Р
年度	取組	22	相談・支援体制の充実		15
担当		4		今後の対応	
秘			相談対応をするとともに、	今後も、相談に対応する	
秘書課	特定事業主行動計画を庁内ウェブに常時掲 載し、広く周知・啓発を図った。			もに、さまざまな情報提	共全行
本	戦し、仏	√同和 •	合用を図りた。	っていく。	
	人権擁	護委員に	よる人権相談(年間12	相談員の研修、情報交換	換等を
ı i	回)が新型	型コロナ	経て、相談能力の向上を	図って	
庶務	和2年度	は中止と	なったため、市ホームペー	いくとともに、より多くの	の市民
課	ジに国や	県で行っ	っている相談についての周	に相談日を周知できる植	幾会を
	知を行っ	た。		増やしていく。	

令和	目標	I	あらゆる分野への男女の共	同参画への促進	計画
	方針	1	市の政策決定過程への参画	iの促進	書
2	施策	(1)	審議会・委員会等への女性	審議会・委員会等への女性の参画促進	
年度	取組	1	審議会等への女性の登用促	進	P 17
十反	月又不且	は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	【数値目標】・女性委員の割合 30%以上		1 7
担当	今年度実績			今後の対応	
	地方自治法や条例等に基づく委員会、審議			庁内への女性登用促進	進を促
	会等にお	ける令和	02年度末現在の女性登用	すとともに、人材の紹介領	等とい
庶	率は33.7%となっている。			ったフォローを充実してい	いく。
務課	庁内に登用促進を周知するとともに、女性				
課	委員数と	登用率の	報告を受け、進行管理を行		
	った。				

令和	目標	${\mathbb I}$	あらゆる分野への男女の丼	あらゆる分野への男女の共同参画への促進		
2	方針	1	市の政策決定過程への参画	市の政策決定過程への参画の促進		
	施策	(1)	審議会・委員会等への女性	審議会・委員会等への女性の参画促進		
年度	取組	2	女性の意見の市政への反映	女性の意見の市政への反映		
担当	今年度実績			今後の対応		
	各課で	所管して	いる委員会や審議会、会議	女性登用促進を促する	ととも	
庶	などに女性委員の登用を促進し、女性の意見			に、発言の機会が増える。	よう環	
庶 務 課	が市政に	反映する	よう努めた。	境の整備を図っていく。		

令和	目標	П	あらゆる分野への男女の共	計画		
2	方針	1	市の政策決定過程への参画	Fの政策決定過程への参画の促進		
2	施策 (2)		女性職員の人材育成と管理職への登用		Р	
年度	取組	3	女性リーダー職員の育成	女性リーダー職員の育成		
担当				今後の対応		
	リーダ	ー養成の	ため、庁内掲示板等により	引き続き、研修への積	極的な	
秘書	研修会へ	の参加促	進を図った。	参加を促していく。		
秘書課						

令和	目標	П	あらゆる分野への男女の共	あらゆる分野への男女の共同参画への促進			
	方針	1	市の政策決定過程への参画	5の政策決定過程への参画の促進			
2	施策	(2)	女性職員の人材育成と管理	間職への登用	Р		
年度	取組	4	職員の職域拡大	職員の職域拡大			
担当	今年度実績			今後の対応			
	人事異	動の際、	新たな部署への異動・配置	毎年、人事異動の際に、	、職域		
秘書課	について	検討した	•	拡大について検討する。			

令和	目標	目標 I あらゆる分野への男女の共同参画への促進					
2	方針	1	市の政策決定過程への参画	市の政策決定過程への参画の促進			
	施策	(2)	女性職員の人材育成と管理職への登用		Р		
年度	取組	5	管理・監督者への女性の登	管理・監督者への女性の登用			
担当	今年度実績			今後の対応			
	令和2	年度に、	36名の女性職員を管理職	女性の管理職登用を網	継続す		
Ŧ.M	職員とし	て登用し	た。	るとともに、昇任試験への	の積極		
秘書課	次長級	全2	4名のうち5名	的な受験を促していく。			
課	課長級	全3	6名のうち6名				
	副主幹	級 全7	3名のうち25名				

令和	目標	I	あらゆる分野への男女の丼	同参画への促進	計画
	方針 1 市の政策決定過程への参画の			j の促進	書
2	施策	(2)	女性職員の人材育成と管理	職への登用	Р
年度	取組	6	プロジェクトチームへの女	性職員の参加促進	17
担当		4	年度実績	今後の対応	
	特別定	額給付金	プロジェクトチームを設	今後も、プロジェクト・	チーム
正力	置し、18	3名のう	ち5名の女性職員の登用を	を設置する際は、女性職態	員の登
政策調整課	行った。			用を推進していく。	
調整	国勢調査	蓮田市実	施本部を設置し、国勢調査		
謀	指導員4	6名のさ	5517名の女性職員の登		
	用を行っ	た。			
	「蓮田市はすぴぃ活用プロジェクト・チー			今後も、プロジェクト	チーム
点	ム」(通称	かはすぴ	いお散歩隊)は、女性職員	に女性職員を、より多く	参加す
報広	31名を	含む56	名で活動を行った。	るようにしていきたい。	
聴課					
BAK					
	総合行	政システ	ム運用に際し、蓮田市総合	今後も担当事務に精道	通して
	行政シス	テム運用	保守検討チームを設置し、	いる者を適切に選出する	ること
重	検討を行	っている	0	により、女性職員を積極的	的に任
電算課	令和2	年度は2	0名のメンバー(うち7名	命していきたい。	
課	が女性) 7	が総合行	政システム運用及び更新に		
	主体的に	取組み、	各所属課への連絡役を担っ		
	た。				

令和	目標	I	あらゆる分野への男女の共	 !同参画への促進	計画
2	方針	2	地域における男女共同参画	jの促進	書
2	施策	(1)	女性の人材育成と活躍の支	· 泛援	Р
年度	取組	7	女性の地域活動リーダーの)育成	19
担当		4		今後の対応	
	家庭教育学級(23学級)に学級長を設け、			引き続き、家庭教育学級等の	
	活動の支援を行いながらリーダーの育成に			事業を通して女性の地は	或活動
子	努めた。	小学校2	く学児童の保護者を対象に	リーダーの育成を行って	いく。
C#5	「子育て	講座(合	計8回)」を実施し、女性	また、女性が理事を務め、	ている
子ども支援課	の家庭教	育アドノ	バイザーに講師を依頼する	NPO法人ファイブピースの	
課	とともに	、地域活	5動リーダーの育成に努め	子育て支援活動の支援を	を行っ
	た。			ていく。	

令和	目標	I	あらゆる分野への男女の共	同参画への促進	計画	
2	方針	2	地域における男女共同参画	也域における男女共同参画の促進		
	施策	(1)	女性の人材育成と活躍の支	援	Р	
年度	取組	8	女性のネットワークづくり	女性のネットワークづくりの推進		
担当	今年度実績			今後の対応		
	令和2	年度は、	新型コロナウイルスの感染	女性団体同士の交流や	カネッ	
庶	症拡大防	止のため	、人が集まる機会が限られ	トワークの形成を目的な	とした	
庶 務 課	ていたこ	とから、	女性のネットワークづくり	連絡会議等を通して、推議	進を図	
林	の推進を	図ること	ができなかった。	っていく。		

令和	目標	I	あらゆる分野への男女の共同参画への促進				
2	方針	2	地域における男女共同参画	也域における男女共同参画の促進			
	施策	(1)	女性の人材育成と活躍の支	性の人材育成と活躍の支援			
年度	取組	9	人材リストの活用促進				
担当		₹.	5年度実績	今後の対応			
<u></u>	審議会	等へ女性	性委員の積極的な登用を図	女性がより効果的に流	舌用で		
庶務課	るよう、	周知に取	り組んだ。	きる方策を検討していく。	0		

目標	I	あらゆる分野への男女の共	は同参画への促進	計画
方針	2	地域における男女共同参画	iの促進	書
施策	(2)	地域社会活動等の活性化		Р
田口公日	10	市民活動(コミュニティ、	NPO・ボランティア)	19
日又市日	10	の促進及び支援		19
今年度実績			今後の対応	
は、新型コ	ヘルプタ コロナウ	▶験、コミュニティ講演会 イルス感染拡大防止を図る	新型コロナウイルス原 大防止を図るため、令和 も事業の中止が決定した。 拡大を確認しながら、イ の実施の際には、「共助	3年度 。感染 ベント 社会づ
	方針 施策 取組 車いす は、新型	方針 2 施策 (2) 取組 10	方針 2 地域における男女共同参画 施策 (2) 地域社会活動等の活性化 取組 10 市民活動(コミュニティ、の促進及び支援	方針 2 地域における男女共同参画の促進 施策 (2) 地域社会活動等の活性化 取組 10 市民活動 (コミュニティ、NPO・ボランティア) の促進及び支援 今年度実績 今後の対応 車いすヘルプ体験、コミュニティ講演会 新型コロナウイルス原は、新型コロナウイルス感染拡大防止を図る 大防止を図るため、令和

		l				
令和	目標	П	あらゆる分野への男女の共	あらゆる分野への男女の共同参画への促進		
2	方針	2	地域における男女共同参画	域における男女共同参画の促進		
	施策	(2)	地域社会活動等の活性化		Р	
年度	取組	11	消費者活動の支援		19	
担当		₹.	5年度実績	今後の対応		
商工課	ンター、 消費者 会)への 消費生 4回実施	蓮田松韻 団体(く 活動支援 活相談	年間、月・水・木・金の週 は多重債務相談)	今後も消費者団体への 支援を継続し、更に出前 どで啓発業務の推進を図	講座な	

令和	目標	I	あらゆる分野への男女の共	は同参画への促進	計画
2	方針	2	地域における男女共同参画	地域における男女共同参画の促進	
_	施策	(2)	地域社会活動等の活性化		Р
年度	取組	12	男性の地域社会活動への参	画促進	19
担当		₹.) 年度実績	今後の対応	
	コミュニティづくり推進事業として、新型			今後も市民活動団体の	ヒ協力
自	コロナウ	イルス感	染拡大防止を図るため、ふ	し、多くの方や新たな参加	加者が
治	るさと水	辺ウォー	-ク、第1回花いっぱい運	集まるような事業を実施	拖して
治振興課	動、コミ	ュニティ	講演会などが中止となった	いく。	
課	が、第2日	回花いっ	ぱい運動は、感染防止対策		
	を図りな	がら少人	数で実施した。		

令和	目標	目標 I あらゆる分野への男女の共同参画への促進			計画
2	方針 3 国際理解の推進				書
2	施策	(1)	男女平等に関する国際間の	男女平等に関する国際間の情報収集と提供	
年度	取組	13	情報収集と提供の充実		21
担当	今年度実績			今後の対応	
	国、県等の関係機関より送付された諸外国			国、県等の関係機関よ	り送付
	の女性に	関する資	賢料を庶務課窓口に配架し	された諸外国の女性に関	関する
庶 務 課	た。			資料の収集に努めると共	に、効
課				果的な情報の提供を図え	ってい
				<.	

令和	目標	I	あらゆる分野への男女の共	同参画への促進	計画
2	方針	3	国際理解の推進		書
	施策	(1)	男女平等に関する国際間の	情報収集と提供	Р
年度	取組	14	国際理解のための学習機会	国際理解のための学習機会の提供	
担当	今年度実績			今後の対応	
	新型コ	ロナウィ	/ルス感染拡大防止のため	国際理解につながる	学習機
社 会	公民館で	はほとん	どの企画を中止しており、	会を提供していく。	
社会教育課	国際理解のための講座を行う機会が得られ				
課	なかった	0			

令和	目標	目標 I あらゆる分野への男女の共同参画への促進					
2	方針	3	国際理解の推進				
2	施策	(2)	国際交流事業等の推進		Р		
年度	取組	15	国際理解のための事業推進		21		
担当	今年度実績			今後の対応			
	蓮田市	に住むタ	国語を母国語とする方の	日本語教室についてき	今後も		
É	ために、	日本語教	室を開催している。	側面支援を行っていく。			
治振興課							

令和	目標	目標 I あらゆる分野への男女の共同参画への促進			
_	方針	3	国際理解の推進		書
2	施策	(2)	国際交流事業等の推進		Р
年度	取組	16	国際交流事業の推進		21
担当		₹.) 年度実績	今後の対応	
自治振興課	本語教師	のワンフ コロナウ	ノター及び埼玉県の海外日 ナイトステイ事業について フイルス感染拡大防止のた	令和3年4月から事業 開されるため、引き続き、 家庭との連携を図り、多 入を実現していきたい。	、登録
学校教育課			⁷ への訪問団やオーストラ れは行わなかった。	新型コロナウイルス原 大の状況を鑑みて実施のを判断する。	

令和	目標	I	あらゆる分野への男女の共同参画への促進		
2	方針 3 国際理解の推進				書
	施策	(2)	国際交流事業等の推進		Р
年度	取組	17	語学教育の充実		
担当		4		今後の対応	
禄	小学校	外国語活	5動や英語の授業において	今後も男女分け隔てな	英>ど
校数	も、男女	分け隔て	なく、英語コミュニケーシ	語でコミュニケーション	ンがで
学校教育課	ョン活動を行う授業を推進した。 きる活動を推進していく				
課					

令和	目標 🎹 男女が共に働きやすい環境づくり			づくり	計画
2	方針	1	働きやすい環境の整備	動きやすい環境の整備	
	施策	(1)	仕事と家庭の両立支援		Р
年度	取組	1	保育サービスの充実		23
担当		₹.) 年度実績	今後の対応	
	私立保育所1か所が、次年度から認定こど			保育園入園待機児童の	の解消
	も園に移行する準備を行った。			を図る。	
保	民間の	地域型段	保育施設が定員19名で開	研修等への参加により.	、保育
保育課	園する準	備を行っ	た。	士の質を高める。	
371					

令和	目標 🎹 男女が共に働きやすい環境づくり			計画	
0	方針	1	働きやすい環境の整備		書
2	施策	(1)	仕事と家庭の両立支援		Р
年度	取組	2	学童保育の充実		23
担当		₹.	今年度実績	今後の対応	
	学童保育所の運営について、指定管理者制			学童保育所の運営について、	
	度による学童保育所運営委託を開始し、開所			3年間の指定管理業務	委託の
保	時間の延	長等サー	·ビスの向上を図った。	ため、今年度は次の指定の	の準備
保育課				を行っていく。	

令和	目標	\blacksquare	男女が共に働きやすい環境	づくり	計画	
0	方針	1	働きやすい環境の整備	動きやすい環境の整備		
2	施策	(1)	仕事と家庭の両立支援		Р	
年度	取組	3	家庭保育室の充実		23	
担当		₹		今後の対応		
	地域に	おいて、	子育ての援助を受けたい人	引き続き、ファミリー	・サポ	
7	と援助を	行いたい	人が会員となり、子育てに	ート・センターの充実を	図って	
子ども支援課	ついての	助け合い	1活動を支援するファミリ	いく。在宅医療介護課で実施し		
も も	ー・サポート・センター事業を推進した。令			ている協議体と連携し、	協力会	
援	和2年3	月末現在	の会員数は、依頼会員34	員の増加を図っていく。		
眯	6名、協	力会員7	8名、両方会員36名であ			
	る。					
	家庭保	育室に、	保育に欠ける 3 歳未満の	保育に欠ける3歳未満	帯の子	
保	乳幼児の	保育を委	託した。	どもの保育を必要があれ	つば施	
保育課	令和3	年3月末	に、市内の家庭保育室が事	設の指定をし委託してい	<。	
	業を終了	した。				

令和	目標	\blacksquare	男女が共に働きやすい環境	づくり	計画
2	方針	1	働きやすい環境の整備	働きやすい環境の整備	
_	施策	(2)	育児休業·介護休業制度の	育児休業・介護休業制度の普及啓発	
年度	取組	4	育児・介護休業法の普及啓	発	23
担当		₹.	5年度実績	今後の対応	
庶務課	の案内と 関連法の	一緒に男 資料の送	だった「人権問題講演会」 民女共同参画意識の啓発や 付をした。また、庶務課窓 ブック「女性と人権」を配	企業訪問時において、 護制度や介護休暇制度に ての事例を交えて、周知 を図っていく。	こつい
	架し、育児	見•介護体	芸法の普及啓発を促した。		

令和	目標	\blacksquare	男女が共に働きやすい環境づくり			
2	方針	2	職域の拡大と雇用の安定	職域の拡大と雇用の安定		
_	施策	(1)	能力開発の推進		Р	
年度	取組	5	職業能力開発、各種の技能	職業能力開発、各種の技能講座等の情報提供		
担当		₹.	5年度実績	今後の対応		
**	関係各	所から提	供される職業訓練など、能	今後も引き続き実施し	こてこ	
商工	力向上及	び技能講	 大学のパンフレットを配	<.		
黒課	置し情報提供を行った。					

令和	目標	\blacksquare	男女が共に働きやすい環境	男女が共に働きやすい環境づくり		
2	方針	2	職域の拡大と雇用の安定	^{哉域の拡大と雇用の安定}		
	施策	(1)	能力開発の推進		Р	
年度	取組	6	農業、自営業の女性の活躍	の支援	25	
担当		<u> </u>		今後の対応		
農	地元産	の大豆を	E利用した味噌づくり促進	引き続き支援していく。		
農政課	のため、	女性農業	者の活動を支援した。			
商	関係各	所から提	是供されるパンフレット等	今後も引き続き実施し	してい	
	を配置し	情報提供	を行った。	<.		

令和	目標	Ш	男女が共に働きやすい環境	男女が共に働きやすい環境づくり		
2	方針	2	職域の拡大と雇用の安定		書	
	施策	(1)	能力開発の推進		Р	
年度	取組	7	女性の起業への支援		25	
担当		₹.	5年度実績	今後の対応		
	食品加	工販売の	角生管理に関する情報提	引き続き研修等を通じ	て、情	
農	供を行うとともに、幸手保健所の職員を講師			報提供を行うなど活動の	の支援	
政課	としたH	ACCF	に関する説明会に参加し	をしていく。		
	た。					
	国や県	が発行す	「るパンフレット等の配置	今後も引き続き実施し	してい	
商	により、情報の提供に努めた。			く。また、関係機関と共同	司で女	
工課	市内で	起業した	方へ、蓮田市起業家支援事	性向け創業セミナーの	実施に	
	業補助金	を交付し	た。	ついて検討していく。		

令和	目標	Ш	男女が共に働きやすい環境づくり		
2	方針	2	職域の拡大と雇用の安定		書
	施策	(2)	雇用の安定と拡大	雇用の安定と拡大	
年度	取組	8	就労のための情報提供		25
担当		₹.	5年度実績	今後の対応	
	ハローワークとの連携により、市役所総合			今後も引き続き実施し	してい
***	案内前、商	商工課窓	口などに求人情報を置くな	<.	
商工	ど年間を通して情報提供を行った。また、商				
工課	工課窓口でハローワークオンライン提供を				
	実施した	0			

令和	目標			計画			
2	方針	方針 2 職域の拡大と雇用の安定					
	施策	(2)	雇用の安定と拡大	用の安定と拡大			
年度	取組	9	就職・再就職の支援		25		
担当	今年度実績			今後の対応			
	埼玉県	セカント	ドキャリアセンターと共同	今後も引き続き支援し	してい		
商	でシニア	向けの家		く。また、就職支援セミ	ナーの		
	た。			実施について検討してい	<。		
謀							

令和	目標	Ⅲ 男女が共に働きやすい環境づくり		計画	
2	方針 2 職域の拡大と雇用の安定				書
2	施策	(2)	雇用の安定と拡大	雇用の安定と拡大	
年度	取組	10	内職相談事業の充実	内職相談事業の充実	
担当		4	5年度実績	今後の対応	
	商工課	窓口です		今後も引き続き実施し	してい
	商 ーワークオンライン提供を実施した。 く。			<.	
工課					

令和	目標	目標			
2	方針	3	労働条件の向上		書
	施策	(1)	職場における男女平等の促		Р
年度	取組	11	男女雇用機会均等法の普及	· 文啓発	27
担当		₹		今後の対応	
	2月に	開催予定	だった「人権問題講演会」	企業訪問時において、	男女雇
	の案内と一緒に男女共同参画意識の啓発や			用機会均等法についての	周知、
庶	関連法の資料の送付をした。また、庶務課窓			啓発を図っていく。	
務課	口に人権ポケットブック「女性と人権」を配				
	架し、男女雇用機会均等法の普及啓発を促し				
	た。				
	関係各	所から携	農供されるパンフレット等	今後も引き続き実施し	こてこ
商	を配置し	情報提供	を行った。	<.	
日 日 工 課	庶務課	と共同で	、男女共同参画•消費生活		
課	セミナー	を実施予	定だったが、新型コロナウ		
	イルス感	染症拡大	防止のため中止した。		

令和	目標	${\rm I\hspace{1em}I}$	男女が共に働きやすい環境	男女が共に働きやすい環境づくり		
0	方針	3	労働条件の向上		書	
2	施策	(1)	職場における男女平等の促	<u></u> 進	Р	
年度	取組	12	女性活躍推進法の普及啓発	<u>k</u>	27	
担当		4		今後の対応		
庶務課	の案内と付をした	ー緒にす 。また、	だった「人権問題講演会」 女性活躍推進法の資料の送 庶務課窓口に人権ポケット 権」を配架し、女性活躍推	企業訪問時において、 躍推進法についての周知 を図っていく。		
	進法の普及啓発を促した。					
商工課			配供されるパンフレット等 を行った。	今後も引き続き実施し く。	ンてい	

令和	目標	Ш	男女が共に働きやすい環境づくり		計画
2	方針	3	労働条件の向上	労働条件の向上	
	施策	(2)	多様な働き方を可能にする条件整備		Р
年度	取組	13	柔軟な勤務体制づくりのた	柔軟な勤務体制づくりのための情報提供	
担当		4	5年度実績	今後の対応	
	関係各	所から摂	提供されるパンフレット等	今後も引き続き実施し	してい
商丁	を配置し情報提供を行った。			<.	
工課					

令和	目標	Ш	男女が共に働きやすい環境づくり		計画
2	方針	3	労働条件の向上		書
2	施策	(2)	多様な働き方を可能にする	多様な働き方を可能にする条件整備	
年度	取組	14	労働時間短縮の意識啓発の	ための情報提供	27
担当		₹.	5年度実績	今後の対応	
**	関係各	所から提	農供されるパンフレット等	今後も引き続き実施し	してい
商工課	を配置し	情報提供	を行った。	<.	
禄					

令和	目標	${\rm I\hspace{1em}I}$	男女が共に働きやすい環境づくり		計画
2	方針	3	労働条件の向上	労働条件の向上	
	施策	(2)	多様な働き方を可能にする	多様な働き方を可能にする条件整備	
年度	取組	15	ワーク・ライフ・バランス	の普及啓発	27
担当	今年度実績		今後の対応		
	2月に開催予定だった「人権問題講演会」			企業訪問時において、	女性活
-	の案内と一緒に男女共同参画意識の啓発や、			躍推進法についての周知.	、啓発
庶務課	ワーク・	ライフ・	バランスの紹介を行った。	を図っていく。	
課					

令和	目標	IV	いきいきと暮らせる環境で	いきいきと暮らせる環境づくり		
_	方針	1	子育て支援への環境整備		書	
2	施策	(1)	ひとり親家庭等への支援		Р	
年度	取組	1	生活安定への援助		28	
担当		₹.	5年度実績	今後の対応		
	ひとり親家庭等の生活の安定と自立が図			引き続き、児童扶養手	当、ひ	
	れるよう、児童扶養手当の支給やひとり親家			とり親世帯等への臨時給	付金、	
7	庭等医療	費助成な	どの生活支援を行った。ま	ひとり親家庭等医療費用	功成制	
ど	た、新型	コロナウ	イルスの感染拡大により生	度などについて、制度周囲	知を図	
子ども支援課	活に困窮	している	ひとり親家庭に対して、臨	り、適正な支給に努める	0	
援	時給付金	を支給し	た。			
誅 	母子家	庭等自立	支援として、高等職業訓練			
	促進給付金等助成事業、自立支援教育訓練給					
	付費助成	事業を実	施した。			

令和	目標	Ⅳ いきいきと暮らせる環境づくり		計画	
2	方針	1	子育て支援への環境整備	子育て支援への環境整備	
	施策	(1)	ひとり親家庭等への支援		Р
年度	取組	2	相談体制と情報の収集・提	相談体制と情報の収集・提供の充実	
担当		4	5年度実績	今後の対応	
	窓口に	おけるノ	ペンフレットの配布や広報	引き続き、ホームペー	ジ・広
子ども支援課	誌への掲載など、さまざまな制度の周知を図			報誌・パンフレット等、	あらゆ
もち	った。あわせて、親子が多く集まるイベント			る機会を捉えて情報の技	是供に
援	において、「子育てガイドブック」を配布し、一努めていく。				
課	子育てに	役立つ情	報の提供に努めた。		

令和	目標	IV	いきいきと暮らせる環境づくり		
2	方針	1	子育て支援への環境整備		書
	施策	(2)	児童虐待に対する対策の推	進	Р
年度	取組	3	児童虐待防止に向けての取	7組の推進	28
担当		4	今年度実績	今後の対応	
	児童保護の必要な家庭の相談に応じたり、			引き続き、児童虐待の	予防の
子	家庭訪問を行ったりするほか、関係機関と連			啓発を行う。	
ك #	携して、児童相談体制の充実を図った。			要保護児童対策地域は	劦議会
支	児童虐待防止推進のため啓発品を配布し、			の充実を図っていくほか	、子ど
子ども支援課	児童虐待	防止推進	月間(11月)に、広報は	も家庭総合支援拠点の	整備を
	すだに啓	発記事を	掲載した。	検討していく。	

令和	目標	IV	いきいきと暮らせる環境で	いきいきと暮らせる環境づくり	
	方針	1	子育て支援への環境整備		書
2	施策	(2)	児童虐待に対する対策の推	進	Р
年度	取組	4	児童虐待予防に向けた啓発	k 5	28
担当		₹.	今年度実績	今後の対応	
	人権初級者研修会及び実務研修会(埼葛1			児童虐待に関する情報	最を収
	2市町共同開催)において、「子どもの人権」			集するとともにわかりや	やすい
庶	をテーマに児童虐待等の問題についての研			形での提供、身近に感じ	られる
務課	修会を行った。			事例の選定など、効果の	ある啓
謀	また、	庶務課窓	80に人権ポケットブック	発を行っていく。	
	「子ども	と人権」	を配架し、児童虐待予防の		
	普及啓発	を促した	-0		

令和	目標	IV	いきいきと暮らせる環境づくり		計画
2	方針	1	子育て支援への環境整備	子育て支援への環境整備	
_	施策	(3)	子育て支援体制の整備充実		Р
年度	取組	5	地域による子育て支援の充	地域による子育て支援の充実	
担当		₹	5年度実績	今後の対応	
	市内各保育園、子育て支援センター、児童			新型コロナウイルス原	惑染症
保	センター等において、新型コロナウイルス感			の状況をみながら、子育	て支援
保育課	染症防止拡大のため事業を中止したり、感染			事業の実施について検討	対して
器	症防止対	策を講じ	、人数制限を行いながら実		
	施した。				

令和	目標	IV	いきいきと暮らせる環境で	いきいきと暮らせる環境づくり		
2	方針	1	子育て支援への環境整備		書	
	施策	(3)	子育て支援体制の整備充実	=	Р	
年度	取組	6	子育てネットワークづくり	の推進	29	
担当		₹.		今後の対応		
	例年イベントなどを通して、 育児をしてい			新型コロナウイルスの	の流行	
ュ	る保護者のネットワーク作りの推進を図っ			によりネットワークがホ	構築し	
子ども	ているが、新型コロナウイルス感染症拡大防			にくくなっているが、子	育てコ	
も支援課	止のため、子育てでつながろうミニフェスタ			ンシェルジュを中心に対	也域の	
援	やあかち	ゃんフェ	スタは中止した。	連携・協働の体制づくりができ		
本				るよう研究を進める。		

令和	目標	IV	がくり	計画		
2	方針	1	子育て支援への環境整備			
2	施策	(3)	子育て支援体制の整備充実		Р	
年度	取組	7	両親学級などの子育て支援	その推進	29	
担当		₹.		今後の対応		
	新型コ	ロナウィ	イルスの感染拡大を防止す	新型コロナウイルスの	の感染	
	るため、内容を精査のうえ、時間短縮かつ日			状況に留意しつつ、引き	続き継	
	程を3回	から2回]に変更して実施した。	続していく。		
	年2回開催(9月3日、9月5日、11月2					
子	6⊟、1	2月5日)			
子ども支援課	参加者実	人数:4	-6人			
支	(妊婦2	3人、夫	: 23人)			
接	なお、個	固別の妊	婦相談を以下のとおり実施			
	した。					
	4日間開	催(3月	10日、3月15日、3月			
	22日、					
	参加者実	人数:1	3人(妊婦9人、夫4人)			

令和	目標	IV	Ⅳ いきいきと暮らせる環境づくり		
2	方針 1 子育て支援への環境整備				書
	施策	(4)	子どもをとりまく環境整備		Р
年度	取組	8	児童相談事業の充実		29
担当	今年度実績			今後の対応	
7	子ども	支援課、	子育て支援センター、児童	育児をしている保護を	当の不
子ど	センター	、子育て	ひろば「ぽこ」、つどいの	安を軽減するため、子育・	てコン
も支援課	広場「おひさま」などにおいてケースワーカ			シェルジュを中心に児頭	童相談
援	ーや子育てに関する相談員などによる相談 体制の充実に努めて				
諸	事業を実	施した。			

令和	目標	IV	いきいきと暮らせる環境で	ブ く り	計画
0	方針	1	子育て支援への環境整備		書
2	施策	(4)	子どもをとりまく環境整備	±	Р
年度	取組	9	人にやさしい公園等の整備		29
担当		₹.	年度実績	今後の対応	
	定期的	な公園の	巡回を実施し、遊具の点検	定期的に公園の巡回。	点検を
	や危険個	所の有無	を確認した。また、市民か	行い、事故を未然に防げる	るよう
	らの情報	提供や、	定期点検、公園巡回の際に	努める。	
	判明した遊具やベンチ等の危険個所の修繕			地元自治会や周辺住民	民の意
	を行った。			見を聞き、地元が望む公園	園のあ
	増え過ぎた、あるいは大きくなり過ぎた園			り方に少しずつ近づけて	いき、
	内樹木等の間引き、伐採を行い、周囲から園			地元との協働管理を推進	する。
み	内が見渡	せるよう	安全面に配慮した剪定等	簡易児童遊園について	、利用
みどり環境課	を行った	0		率が少なく人の目に触れ	れるこ
環培	遊具に	ついて、	令和2年度は西城沼公園ほ	との少ない箇所を廃止し	、人の
課	か2公園に健康遊具を設置したほか、ザイル			目が多く、トイレ等の施	設の整
	クライミ	ング遊具	など遊具の新設更新、劣化	った公共施設の敷地内	りに移
	した木製	ベンチや	錆び付いた東屋、公園灯な	設・新設を検討する。	
	どの修繕	を行った			
	28年	度よりう	さども支援課より引き継い		
	だ簡易児	童遊園に	ついて、利用者も少なく、		
	人目につ	きにくい	1ため危険と判断した2か		
	所を廃止	した。			

令和	目標	IV	いきいきと暮らせる環境づくり		計画
2	方針	1	子育て支援への環境整備	子育て支援への環境整備	
	施策	(4)	子どもをとりまく環境整備		Р
年度	取組	10	青少年の健全育成	青少年の健全育成	
担当	今年度実績			今後の対応	
子ども支援課	支援した 月10日	。青少年 (日)に を実行委	所成推進員連絡会の活動を 育成推進員連絡会は、11 親子で楽しめる「親子ふれ 員会とともに開催し、参加 iした。	引き続き、「親子ふれた」 における啓発など、青少生 推進員連絡会と連携して、 年の健全育成に取り組ん く。	年育成、青少

令和	目標	IV	ハきいきと暮らせる環境づくり			
	方針	2	高齢者・障がい者の社会参	る齢者・障がい者の社会参画への環境整備 B		
2	施策	(1)	介護をめぐる福祉サービス	介護をめぐる福祉サービスの充実		
年度	取組	11	在宅福祉サービスの充実			
担当	今年度実績			今後の対応		
長寿支援課	期間とす第7期介宅)におり	る蓮田市 護保険事 する生活 通報シス)ら令和2年度までを計画 高齢者福祉計画 2018・ 業計画に基づき、地域(在 を支援するために、各種事 テム事業・配食サービス事	高齢者世帯やひとり 高齢者は、今後もさらに る見込みであるため、関 と連携しながら、在宅生 援する事業の周知推進等 める。	増加す 係機関 活を支	

令和	目標	IV	いきいきと暮らせる環境つ	がくり	計画
2	方針	2	高齢者・障がい者の社会参	画への環境整備	書
2	施策	(1)	介護をめぐる福祉サービス	の充実	Р
年度	取組	12	福祉施設の整備・充実		30
担当		₹.	5年度実績	今後の対応	
福祉課	委託し、等につい	複合機能 て検討を 年度に認	等所等基本計画策定業務を、建物の構造、レイアウト行った。 設計業務委託を行うべく準	令和3年度に設計業務を行う。翌年度以降に建設ができます。 でんしゅう でんしゅう でんしゅう でんしゅう かいん かんしゅう かいん かんしゅう かいん かんしゅう かいん かんしゅう かんしゃ かんしゅう かんしゅう かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゅう かんしゃ かんしゅう かんしゃ かんしゃ かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゃ かんしゃ かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゃ かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゃ かんしゅう かんしゅう かんしゃ かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅん かんしゃ かんしゅん かんしゅん かんしゃ かんしゃ かんしゅん かんしゅん かんしゅん かんしゅん かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんし	
長寿支援課	の開設に	あたり、	対応型訪問介護看護事業所 備品整備等にかかる費用の 電業者への補助金を交付し	令和2年11月に応募 選定した、認知症対応型 活介護事業所について、 年度中の開設に向け準備 める。	共同生

令和	目標	IV	いきいきと暮らせる環境で	がくり	計画
2	方針	2	高齢者・障がい者の社会参	画への環境整備	書
2	施策	(1)	介護をめぐる福祉サービス	の充実	Р
年度	取組	13	介護者支援の充実		30
担当		₹.	5年度実績	今後の対応	
長寿支援課	の状態がし、6か	6か月以 月以上組 者支援と	きりまたは重度の認知症以上継続している方と同居 迷続して介護しているかた して、ねたきり老人等介護。	在宅で、ねたきり又は 高齢者等を介護している 者への支援を継続して行	る介護
在宅医療介護課	集い、悩み	みを語り「認知症	↑護する家族同士が気軽に合い、介護負担を軽減するの人を介護する家族のつどた。	「認知症の人を介護す 族のつどい」を継続してする。また、談窓口や講座等 案内を継続していく。	実施す

令和	目標	IV	いきいきと暮らせる環境で	がくり	計画
2	方針	画への環境整備	書		
2	施策	(1)	介護をめぐる福祉サービス	の充実	Р
年度	取組	14	各福祉サービス内容の広報	活動の充実	30
担当		4	5年度実績	今後の対応	
	福祉課	窓口など	で、障害サービスの制度説	引き続き、関係機関の	と連携
	明を行う	ほか、パ	ンフレットの配置、広報は	し、福祉サービスの周知に	に努め
福	すだ掲載による周知を行った。			ていく。	
祉課	福祉課窓口の前にパンフレットスタンド			ホームページや広報はすだ	
	を設置し、事業所のパンフレットをはじめ障			を活用し、広報活動の充品	実に努
	害サービ	スに係る	情報提供に努めた。	めていく。	
	例年行	っている	在宅介護教室については、	今後も高齢者が増加し	してい
	新型コロ	ナウイル	ス感染症拡大に伴い、中止	くことに伴い、介護サー	ビス利
長寿支援課	となった	が、窓口	でのパンフレット配布や市	用者も増加していくこと	から、
支坪	ホームペ	ージでの	掲載などの機会を通して、	住民が介護保険への認識や理	
課	介護保険	制度や事	業等の理解促進を図った。	解を深めていただける。	よう広
				報活動を行っていく。	

令和	目標	IV	いきいきと暮らせる環境で	がくり	計画
0	方針	2	高齢者・障がい者の社会参	高齢者・障がい者の社会参画への環境整備	
2	施策	(1)	介護をめぐる福祉サービス	の充実	Р
年度	取組	15	介護に関する相談体制の充	実	30
担当		₹.	9年度実績	今後の対応	
	新型コ	ロナウイ	ルス感染症拡大に伴い、回	介護保険施設利用者や	や介護
E	数は大きく減ってしまったが、介護保険施設			相談員の新型コロナウィ	イルス
寿	に介護相談員を派遣し、高齢者(利用者)の			ワクチン接種状況を勘案し、感	
長寿支援課	相談等に応じ、不安解消を図った。また、地 染症拡大防止対策を徹			眩した	
課	域包括支援センターにおいても、高齢者やそ うえで、施設への相			うえで、施設への相談員	派遣体
	の家族からの様々な相談に対応した。			制の充実に努める。	
/.	高齢者	の総合権	目談窓口である地域包括支	地域包括支援センター	-で高
在宅医療	援センタ	ーにて、	高齢者やその家族、関係機	齢者の相談支援を今後す	も継続
医磨	関等からの様々な相談に年間3,533件応していく。				
介	じた。				
介護課					

令和	目標	IV	いきいきと暮らせる環境で)きいきと暮らせる環境づくり		
2	方針	2	高齢者・障がい者の社会参	画への環境整備	書	
2	施策	(1)	介護をめぐる福祉サービス	个護をめぐる福祉サービスの充実		
年度	取組	16	住民相互の助け合い意識の	主民相互の助け合い意識の醸成		
担当	今年度実績			今後の対応		
	老人ク	ラブの活	動の中には、奉仕活動とし	今後も老人クラブの流	舌動に	
E	て、地域で	での清掃	活動やパトロール等が行わ	ついて、支援を行ってい	<。	
寿	れており					
長寿支援課	識が向けられている。その活動に対して補助					
課	金を交付	するなど				

令和	目標	IV	いきいきと暮らせる環境つ	がくり	計画
2	方針	2	高齢者・障がい者の社会参	画への環境整備	書
	施策	(2)	高齢者の生きがいのある生	活への支援	Р
年度	取組	17	生きがい・社会参加の促進		31
担当	今年度実績			今後の対応	
長寿支援課	所西棟シ て、会員 携を図っ 老人ク ゴルフ大	ルバーノ の活動環 た。 ラブ連合 会を開催 コロナ补	より新たに開設された市役、材センター事務所におい境の整備に努め、更なる連合会事業としてグラウンドし、老人クラブの活動を支いたのスポーツ吹き矢大した。	シルバー人材センター 連携をより深めるため、 年度において意見交換を 回行うほか、関係各課を の情報交換会を開催する。 感染防止対策を行い、 留意しつつ引き続き者。 ブの活動への支援を行う。	令和3 会を4 集めて 。 安全に 人クラ

令和	目標	IV	いきいきと暮らせる環境で	いきいきと暮らせる環境づくり		
2	方針	2	高齢者・障がい者の社会参	高齢者・障がい者の社会参画への環境整備		
	施策	(3)	障がい者の自立支援		Р	
年度	取組	18	人材活用機会の拡大	人材活用機会の拡大		
担当	今年度実績			今後の対応		
福祉課	を委託し 連携を図 た。 自立支	た。市福 りながら 援協議会 が集まり	会に就労支援センター業務 社課と就労支援センターが 、困難ケースの対応を行っ の就労支援部会において、 、事例検討などを行い、職 しった。	今後とも、事業を継続がい者の就労支援を行って。 就労支援部会に就労を ンター、市職員が出席するで、職員の資質向上を図って。	ってい 支援セ ること	

令和	目標	IV	いきいきと暮らせる環境で	がくり	計画			
2	方針	3	健康づくりへの環境整備	津康づくりへの環境整備				
2	施策	(1)	心と体の健康づくり		Р			
年度	取組	19	リプロダクティブ・ヘルス	./ライツに関する啓発や	32			
+ 及	日又市日	19	各種講座の開催		32			
担当		4	5年度実績	今後の対応				
	両親学	級におい	て、妊娠中の生活や出産の	今後も新型コロナウ~	イルス			
	経過、リ	プロダク	ティブ・ヘルスについての	の感染拡大に配慮しつつ	、継続			
	講話を実	施した。		していく。				
	新型コ	ロナウィ	(ルスの感染拡大を防止す					
	るため、「	回数及び	時間を縮小して、年2回開					
子	催(9月	3⊟、9	月5日、11月26日、1					
子ども支援課	2月5日)						
支援	参加者	実人数:	46人					
課	(妊婦2	3人、夫	: 23人)					
	なお、個	固別の妊	婦相談を以下のとおり実施					
	した。							
	4日間開	催(3月	10日、3月15日、3月					
	22日、	3月27	日)					
	参加者実	人数:1	3人(妊婦9人、夫4人)					

目標	IV	いきいきと暮らせる環境づくり		
方針	方針 3 健康づくりへの環境整備			
施策	(1)	心と体の健康づくり		
取組	20	スポーツ・レクリエーション活動の振興		
今年度実績			今後の対応	
新型コ	ロナウィ	/ルス感染拡大防止のため	感染症対策を行ったう	えで、
多くの行	事を中止	とした。	各行事が実施できるよう	う検討
			を行う。	
	施策取組新型コ	施策 (1) 取組 20 新型コロナウィ	施策(1)心と体の健康づくり取組20スポーツ・レクリエーショ	施策 (1) 心と体の健康づくり 取組 20 スポーツ・レクリエーション活動の振興

令和	目標	IV	いきいきと暮らせる環境づくり			
2	方針	3	健康づくりへの環境整備	健康づくりへの環境整備		
	施策	(1)	心と体の健康づくり		Р	
年度	取組	21	女性のスポーツ指導員の増	女性のスポーツ指導員の増員		
担当		₹	5年度実績	今後の対応		
文化スポーツ課	多くの行	事が中止	イルス感染拡大防止のため となったが、スポーツ推進、88の女性委員が活動し	幅広い年齢層へのスプ の普及を図るため、スポー 進委員の年齢・性別等の スを考えた委嘱に努める。	ーツ推 バラン	

令和	目標	IV	いきいきと暮らせる環境づくり		
2	方針 3 健康づくりへの環境整備				
	施策	(2)	母子保健事業の充実		Р
年度	取組	22	母性保護に関する意識啓発	ķ.	33
担当		₹.	今年度実績	今後の対応	
	妊婦健	康診査、	妊産婦・新生児訪問指導事	今後も継続していく。	
_	業につい	て周産期	別の母子保健の向上を図る		
子	ため、妊妊	帰健康診	査助成券の発行や助産師等		
) †	による家	庭訪問を	実施した。		
子ども支援課	妊婦健康	診査助成	送 送 送 送 送 送 送 送 送 送 送 送 送 送 送 送 送 送 送		
課	妊産婦新生児訪問:延657件				
	(母32	7人、子	-330人)		

令和	目標	IV	V いきいきと暮らせる環境づくり				
2	方針	თ	健康づくりへの環境整備		書		
	施策	(2)	母子保健事業の充実		Р		
年度	取組	23	育児等に関する相談体制の	育児等に関する相談体制の充実			
担当		₹.	5年度実績	今後の対応			
	乳幼児	相談で育	育児に関する相談を実施し	今後も継続していく。			
子	た。親子	教室・親	子教室 OB 会で、発達を促				
子ども支援課	すための	支援が必	要な子どもの対応をした。				
支	乳幼児相	談:7回	〕 延83人				
│ 援 │ 課	親子教室:延参加人数 106人						

令和	目標 IV いきいきと暮らせる環境づくり				計画	
2	方針 3 健康づくりへの環境整備					
	施策	(2)	母子保健事業の充実			
年度	取組	24	エイズに関する知識の普及	エイズに関する知識の普及		
担当	今年度実績			今後の対応		
7	妊婦健康診査助成券と一緒に妊婦 HIV 抗 今後も継続していく。					
と	体検査受	診券を発	行した。			
も も	妊婦 HIV 抗体検査受診券発行数:397件					
子ども支援課						
本						

令和	目標	IV	いきいきと暮らせる環境つ	がくり	計画	
0	方針	3	健康づくりへの環境整備		書	
2	施策	(3)	健康づくり体制の充実		Р	
年度	取組	25	予防・保健指導の充実		33	
担当				今後の対応	•	
	40歳」	以上の市	民には個別がん検診受診券	受診率の目標が 50%である		
	(封書)、	20~3	9歳の女性には子宮頸がん	のに対し、すべてのがん	検診の	
	検診の個	別受診券	:(はがき)を送付した。全	受診率は大変低い状況で	である	
	てのがん	検診が個	別検診で受診でき、4種の	ため、継続して受診率向.	上のた	
	がん検診	は集団核	食診での受診と選択できる	めの施策が必要である。		
	ように実	施してい	る。	新型コロナウイルス感染	杂拡大	
	〇令和2	年度受診	・者数(クーポン受診者含 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	の影響により、今まで実	施して	
	む)			いた各種イベント等での	のがん	
	実績:胃	がん	1,430 人	検診の周知活動は困難で	である	
	肺	がん	3,724 人	ため、勧奨はがきやホー	ムペー	
	大	腸がん	4,357人	ジ、広報を中心に PR を行う。		
	子	宮頸がん	1,958人	また、若い世代のがん検	診受診	
	乳	がん	989人	率向上のため、小中学校や子ど		
健康増進課	前	立腺がん	1,515人	も支援課と連携したが/	ん検診	
増増			進することを目的に、国の	の受診勧奨及び、乳がんの	の自己	
課			がん検診推進事業(子宮頸	検診法の周知を図ってい	<。	
	がん、乳	がん) を	実施し、対象者には検診費			
		_	クーポン券を発行した。ま			
	•		検診未受診者には、受診勧			
	_		受診を促した。40歳から			
	/		に対しては、継続して再勧			
		送付し、	受診率向上の取り組みを強			
	化した。	.0.				
	_ ,, , _		使用しての受診者数			
			, (20 歳の女性のみ)			
		5人	/ W = 7 \			
	,		女性のみ)			
	8	1人				

令和	目標	IV	いきいきと暮らせる環境づくり		
2	方針	3	健康づくりへの環境整備		書
	施策	(3)	健康づくり体制の充実		Р
年度	取組	26	健康管理に関する意識啓発	ķ.	33
担当		₹.	5年度実績	今後の対応	
	• 広報誌	、行政モ	ニター、蓮田駅や市役所に	あらゆる機会をとらえ	て、広
	設置した	横断幕等	で、市の健(検)診等保健	く市民に対し、心身の健康	東に関
	事業をP	Rした。		する情報発信に努めてい	<。
	•「健康に	はすだ2	1(第2次)改定版•蓮田	「健康はすだ第2次改物	定版 •
	市食育推	進計画」	の推進のため、健康づくり	蓮田市食育推進計画」推	進のた
健	推進員連	絡会議を	3回開催し、研修会、計画	め作成したウォーキング	ブマッ
健康増進課	の報告・	評価、情	報交換を行った。また、健	プや野菜レシピ集を広ぐ	く市民
進	康づくり	推進員が	中心となり、ウォーキング	に配布し、健康づくり推議	進員及
謀	マップを	作成し、	配布した。	び食育推進員と協働で、	建康づ
	(延べ参	加者66	人)	くり・食育推進の取り組織	みを進
	•「健康に	はすだ2	1(第2次)改定版•蓮田	めていく。	
	市食育推	進計画」	の推進のため、食育推進員		
	連絡会議	2回開催			
	集の作成	を行った	。(延べ参加者26人)		

令和	目標	IV	いきいきと	こ暮らも	さ環境で	がくり	計画
	方針	3	健康づくり	建康づくりへの環境整備			
2	施策	(3)	健康づくり)体制の)充実		Р
年度	取組	27	健康相談体	は制のぞ	実		33
担当		₹.	年度実績			今後の対応	
	心身の	健康に関	する相談に	対し、	電話や面	新型コロナウイルスの	の感染
	接、訪問	により、	支援を行い	、市民の	の健康増	拡大に伴い、集団で実施	してい
	進に努めた。					る出前健康相談・教育は	開催が
	保健師・管理栄養士等による健康相談を実					困難であるため、電話や	面接等
健	施し、相	談支援体	制の充実を	図った	0	の個別対応にて、健康相談	談を実
健康増進課	定例健	康相談	80	延べる	20人	施していく。	
進	こころ	の健康相	談 4回	延べ	4人	また、こころの健康相談	談につ
課						いても、電話や面接等の	固別対
						応を行うとともに、継続	支援が
						必要な方は、適切な相談	機関等
						につないでいく。	

令和	目標	V	男女間のあらゆる暴力のない社会づくり			
2	方針	1	暴力を許さない社会づくり	暴力を許さない社会づくりの推進		
	施策	(1)	DV等の防止に向けた啓発		Р	
年度	取組	1	広報紙等による情報提供	広報紙等による情報提供		
担当	今年度実績			今後の対応		
	庶務課	窓口に「	DVは、パートナーだけで	DVに関する相談機関	関や人	
庶	なく子ど	もの心も	壊すもの。」、「心のケア電	権相談の周知を図るとと	もに、	
庶 務 課	話相談」	などのD)Vに関するチラシを配架	女性にとって入手しやす	すい方	
謀	し、DV	等の防止	に向けた啓発を行った。	法による啓発を図ってい	<。	

令和	目標	目標 V 男女間のあらゆる暴力のない社会づくり					
	方針	1	暴力を許さない社会づくり)の推進	書		
2	施策	(1)	DV等の防止に向けた啓発	ķ 5	Р		
年度	取組	2	男女間のあらゆる暴力根紙	心に向けた啓発	35		
担当		₹.		今後の対応			
	庶務課窓口に人権ポケットブック「女性と			DVに関する相談機関	関や人		
	人権」を	配架し、	男女間のあらゆる暴力根絶	権相談の周知を図るとと	もに、		
庶	に向けた	啓発を行	: った。	女性にとって入手しやす	すい方		
務課	また、	平和の映	画会において「DVは、パ	法による啓発を図ってい	<。		
	ートナー	だけで	なく子どもの心も壊すも				
	の。」のき	チラシを 	配布し啓発を行った。				

令和	目標	V	男女間のあらゆる暴力のない社会づくり				
2	方針	1	暴力を許さない社会づくり	の推進	書		
	施策	(2)	若年者に対する予防啓発		Р		
年度	取組	3	人権尊重と暴力を許さない	こという学校教育の実施	35		
担当		₹.	5年度実績	今後の対応			
	非行防	止教室を	E岩槻警察の方と連携して	暴力・いじめを絶対に	許さな		
	行い、暴力	カは犯罪	であるということについて	いという校内の風土を。	より高		
当	学ばせる	機会を設	けた。また、日頃の教育活	める。生徒指導研修会、	岩槻警		
学校教育課	動•集会	• 授業等	を通し、暴力・悪口等のい	察との連携をより一層を	ち実产		
】 教 】 音	じめをな	くす取組	を行った。また、道徳の授	せる。物理的な暴力だけ	ナでな		
課	業では、	「しては	ならないこと」の学習とし	く、言葉の暴力について:	も併せ		
	て暴力を	挙げ、学	校全体が一丸となって、暴	て指導し、いじめゼロる	を目指		
	力を許さない土壌づくりに努めた。 す。						

令和	目標	V	男女間のあらゆる暴力のな	男女間のあらゆる暴力のない社会づくり			
2	方針	1	暴力を許さない社会づくり	暴力を許さない社会づくりの推進			
2	施策	(2)	若年者に対する予防啓発		Р		
年度	取組	4	デートDV防止に関する啓	発	35		
担当		₹.	5年度実績	今後の対応			
庶務課	庶務課窓口にデートDVに関する相談窓 児童生徒などにわかり 口等のパンフレットを配架し、啓発に努め い形で情報提供や啓発に た。 ていく。						
学校教育課	考えるこ	との大切について	して、相手の立場になってを考えさせ、相手を思いや、児童・生徒に学ばせるこ	今後もデート DV 防止り具体的なテーマに沿っ業の推進を図りたい。			

令和	目標	V	男女間のあらゆる暴力のない社会づくり		計画		
2	方針	2	安心して相談できる体制で	安心して相談できる体制づくり			
	施策	(1)	被害者に対する相談体制の充実		Р		
年度	取組	5	相談員の資質向上		36		
担当	今年度実績			今後の対応			
	埼玉県	が主催す	するDV相談に関する研修	積極的に研修会等に参加	加し、		
庶	会に参加	し、資質	向上に努めた。	DV相談への対応能力区	匀上に		
務課				努める。			
課							

目標	V	男女間のあらゆる暴力のない社会づくり				
方針	2	安心して相談できる体制で	安心して相談できる体制づくり			
施策	(1)	被害者に対する相談体制の	被害者に対する相談体制の充実			
取組	6	二次被害の防止	二次被害の防止			
今年度実績			今後の対応			
DVによる被害を受けた方の安全確保を			被害者の安全を最優先にし			
最優先に	した対応	に努めるとともに、関係各	た対応を行うとともに、	相談機		
課や関係	機関との	連携を図ったことにより、	会の増加や資質の向上、	関係機		
二次被害	の発生は	無かった。	関との連携を密接にし、	保護体		
			制の拡充を図っていく。			
	方針 施策 取組 DVに 最優先に 課や関係	方針 2 施策 (1) 取組 6 DVによる被害 最優先にした対応 課や関係機関との	方針2安心して相談できる体制で施策(1)被害者に対する相談体制の取組6二次被害の防止今年度実績	方針 2 安心して相談できる体制づくり 施策 (1) 被害者に対する相談体制の充実 取組 6 二次被害の防止 今年度実績 今後の対応 DVによる被害を受けた方の安全確保を 最優先にした対応に努めるとともに、関係各 課や関係機関との連携を図ったことにより、 二次被害の発生は無かった。 被害者の安全を最優な た対応を行うとともに、 会の増加や資質の向上、 関との連携を密接にし、		

令和	目標	V	男女間のあらゆる暴力のな	い社会づくり	計画		
0	方針	2	安心して相談できる体制で	安心して相談できる体制づくり			
2	施策	(2)	関係機関とのネットワーク	関係機関とのネットワークの構築			
年度	取組	7	庁内関係各課との連携	テ内関係各課との連携			
担当		₹.	今後の対応				
	庶務課が中心となり、子ども支援課、福祉 引き続き、相談者が安め			心して			
	課、市民課、健康増進課など関係各課と連携 相談できるよう関係各調						
庶	し、相談者をより安全な場所に案内し、安心 携しながら体制を深めてい						
務課	して相談できるような体制に努めた。						

令和	目標 V 男女間のあらゆる暴力のない社会づくり				計画
0	方針	2	安心して相談できる体制で	安心して相談できる体制づくり	
2	施策	(2)	関係機関とのネットワーク	関係機関とのネットワークの構築	
年度	取組	8	関係機関等との連携		36
担当		₹.		今後の対応	
	県や警察などとの報告、連絡、相談を密に			被害者保護と自立支援が最	
	し、信頼	関係の構	築に努めた。	優先事項であることの共有化	
庶	また、	関係機関	と各機関との信頼関係を	を構築	
庶 務 課	情報共有	を図り、	し、連携の強化を図って	いく。	
	が対応す	ることが	できた。		

令和	目標 V 男女間のあらゆる暴力のない社会づくり				計画
2	方針	3	DV被害対策の充実・強化	DV被害対策の充実・強化	
	施策	(1)	被害者の安全確保と緊急避	被害者の安全確保と緊急避難の拡充	
年度	取組	9	緊急時の安全確保と対応		37
担当	今年度実績			今後の対応	
	令和2年度は事案の発生が無かったが、発			関係機関との連携や被害者	
	生した際	は、県や	警察などとの連携により、	の意思を尊重した、最善の	の保護
庶	被害者の	意思を尊	重し、適切な避難手続き、	と自立支援に努め、適切し	に対応
務課	避難の同	行を行う	o	していく。	
UZIN					

令和	目標	V	男女間のあらゆる暴力のな	男女間のあらゆる暴力のない社会づくり			
2	方針	3	DV被害対策の充実・強化	DV被害対策の充実・強化			
	施策	(1)	被害者の安全確保と緊急避	被害者の安全確保と緊急避難の拡充			
年度	取組	10	被害者等に関する個人情報	被害者等に関する個人情報の適切な保護			
担当	今年度実績			今後の対応			
	DV被害者からの申し出に基づき、加害者			被害者保護の立場から、引き			
	等からの	住民票の	写し•戸籍の附票の写しの	続き関係各課と連携した	ながら		
市	発行及び	情報管理を徹底する。					
民課	る。関係各課が情報を共有できるよう住民基						
	本台帳上で注意喚起を行っている。						

令和	目標	V	男女間のあらゆる暴力のな	男女間のあらゆる暴力のない社会づくり			
2	方針	3	DV被害対策の充実・強化	DV被害対策の充実・強化			
	施策	(2)	自立のための支援体制の充	実	Р		
年度	取組	11	被害者に対する適切な情報	提供と支援の実施	37		
担当	今年度実績			今後の対応			
	令和2	年度は事	案の発生が無かったが、発	関係課との情報交換や相談			
	生した際	は、庶務	課が中心となり、子ども支	員資質向上を通して連携の緊			
	援課、福	祉課、市	民課、健康増進課など関係	密を高め、全庁的な支援を	を実施		
庶	各課と連	携し、相	談者をより安全な場所に案	していく。			
務課	内し、安	心して相	談できるよう、DV支援を				
BAK .	行う。また	た、住民	基本台帳事務における支援				
	措置申出	者に対し	、申出者の状況を聴きなが				
	ら適切な	対応に努	がた。				

令和	目標	V	男女間のあらゆる暴力のな	男女間のあらゆる暴力のない社会づくり			
0	方針	3	DV被害対策の充実・強化	DV被害対策の充実・強化			
2	施策	(2)	自立のための支援体制の充	自立のための支援体制の充実			
年度	取組	12	関連する法制度の適切な運	関連する法制度の適切な運用			
担当	今年度実績			今後の対応			
	埼玉県が主催したDV支援に関する研修			埼玉県や他市町、庁内に	関係各		
	会に参加し、DV支援に関する県及び他市町			課と連携し、関連法令や	制度の		
庶 務 課	の状況を	把握し、	DV被害者への対策の充実	情報交換や意見集約を行	U, D		
課	と強化を	図った。		V被害者支援体制の充実を図			
				っていく。			